

解説と指導のポイント付き!

みんなが知らない!
ウガンダのこと

ワークシート

1. 「ウガンダ」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。
.....
.....
2. ウガンダがかかえている課題を解決するために、
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。
.....
.....
3. 将来、ウガンダで仕事をするとしたら、あるいは、ウガンダの人と
いっしょに仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。
それはなぜでしょうか。
.....
.....

年 組 氏名 _____

紙教材裏表紙の
ワークシートを
授業の振り返りに
活用ください。



活用の手順

- 1 「ウガンダ」に対して知ったこと、興味をもったことを、まず、生徒同士で対話する時間をつくる。
- 2 各自がワークシートに自分の意見を記入。
※裏表紙に直接書き込むか、教師が前もって、人数分のコピーをとって配り、書き込んで回収してもよい。
- 3 記入したワークシートは、各自のポートフォリオに加える。

ワークシートのねらい

- 感想を文章化する作業を通して、自分の興味・関心を認識し、今後の行動につなげる。
- 国際社会に対する視野を広げる。
- 国際協力の可能性と大切さに気づく。
- キャリア教育の視点でアフリカとのつながりを考えることで、職業の選択肢を広げる。



現地の高校生に
聞いたよ!



主体的・対話的で
深く学べる
「アクティブ・
ラーニング」
教材

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

2021年5月1日 初版発行
 発行：独立行政法人 国際協力機構（JICA）
 本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
 〒102-8012
 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
 Tel：03-5226-8215（年末年始土日祝日を除く9:30～17:45）
 E-mail：6rta3@jica.go.jp
 URL：https://www.jica.go.jp/



監修：天笠茂（千葉大学 名誉教授）
 梅屋潔（神戸大学大学院 国際文化学研究所 教授）
 落合雄彦（龍谷大学 法学部 教授）
 編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
 編集協力：株式会社WILL
 イラスト：伊藤美樹
 デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)
 The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

※国旗は、国連と同じく3:2のサイズで掲載しています。

教材 『みんなが知らない ウガンダのこと』



教材の構成と特徴

『みんなが知らないウガンダのこと』は、ウガンダ共和国について知り、興味を抱くための中学生向け動画・紙教材です。アフリカ編動画・紙教材と組み合わせての使用で、「ウガンダ」に対するより深い理解や、生徒の視野の広がりが期待できます。それぞれの教材の構成や特徴は、以下の通りです。

A アフリカ編動画

ポイント
再生時間は約4分。「アフリカ」に対する生徒の興味を引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

B アフリカ編紙教材

目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!

ポイント
「アフリカ」の概要を学ぶための教材です。「アフリカ」がもつけたちがいの多様性から、課題解決の方向性まで、多角的に示しています。

C ウガンダ動画

ポイント
再生時間は約4分半。「ウガンダ」について「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

D ウガンダ紙教材

目次

- ・ストーリー
- ・ウガンダってどんな国?
- ・ウガンダの高校生のこと
- ・農業が盛ん! ウガンダの食文化
- ・ウガンダの世界遺産と美しい自然
- ・首都カンバラでは
- ・日本の若手起業家が活躍!

ポイント
「ウガンダ」がもつポテンシャルや課題を解説。その課題にJICAがどう協力して、解決を模索しているかがわかります。

教材使用パターン

4種類の教材は関連性のある構成になっていますが、状況に応じて切り離して学習するなど、さまざまな使い方に対応します。

ショート (50分×1~2コマ)

Aは、できれば**C**の授業前に、学級活動などの空いた時間を利用して視聴するとよいでしょう。また**B**は、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布し、生徒が読んでおくことで**C**の授業の下地をつくることができます。



C ウガンダ動画

所要時間例：10~20分

ウガンダの基本情報を確認し、ウガンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ウガンダ紙教材

所要時間例：40~80分

ウガンダについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

スタンダード (50分×2~3コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~20分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

Bは、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布しておくことで、生徒同士の情報共有につながります。



C ウガンダ動画

所要時間例：30~40分

ウガンダの基本情報を確認し、ウガンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ウガンダ紙教材

所要時間例：50~100分

ウガンダについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

フル (50分×4~5コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~30分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

B アフリカ編紙教材

所要時間例：40~70分

対話しながら見開きごとのテーマで読むことができます。考察の発表、調べ学習、ポートフォリオなど、導入、展開、まとめに幅広く活用できます。

C ウガンダ動画

所要時間例：10~30分

ウガンダの基本情報を確認し、ウガンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ウガンダ紙教材

所要時間例：90~120分

ウガンダについての深い学びにつながれます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。



授業への取り入れ方例

APPROACHES TO TEACHING

年間指導計画にどう位置づけるか(例)

この教材は、「総合的な学習の時間」の国際理解教育での活用が想定されますが、内容の一部を道徳や各教科学習をはじめ、横断型の学習に位置づけても活用できます。また、教育活動全体を通じて行われるキャリア教育にも適しています。

教材には、生徒が「アフリカ」と「ウガンダ」について多面的に理解し、関心をもつとともに、日本との関わり

り及び国際協力について理解するというねらいがあります。

生徒が興味をもちやすい話題を入り口として、SDGsやアフリカ諸国の課題にもふれる構成になっています。探究課題の設定や、課題解決に向けた主体的で対話を通じた協働的な学習などに生かしてください。

年間指導計画の記載例を、以下に示します。

国際理解教育(総合)	道徳	社会ほか(教科)
「ウガンダ」について学ぶことで、異文化の存在を認める寛容性を身につけられるようにする。学ぶにあたっては、適切な情報を収集したり選択したりできるメディア・リテラシーを身につけられるようにする。	「ウガンダ」について学び、さまざまな価値観をもつ人と尊重し合いながら生きるために視野を広げられるようにする。正解が1つではなく、自ら考え、多面的・多角的な見方ができるようにする。	「ウガンダ」についての多面的・多角的な考察を通して、国際社会で主体的に生きるための資質・能力の基礎を養えるようにする。個人の社会的な活動への参画が国の平和や繁栄につながることに気づくようにする。

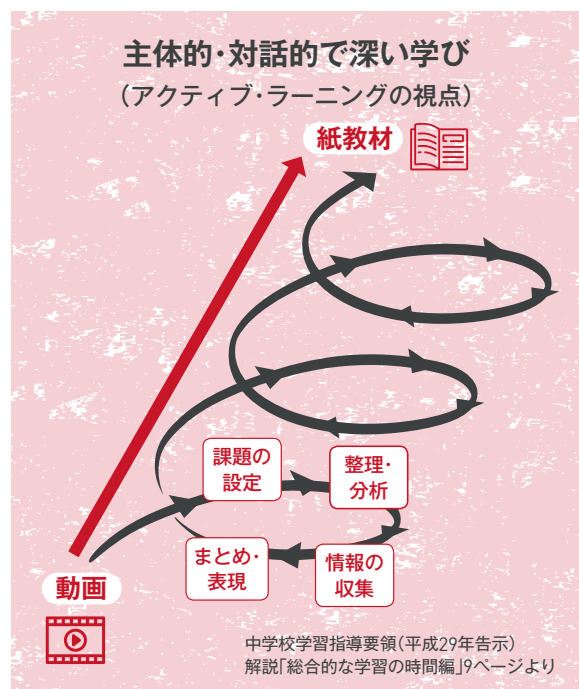
平成29年・30年改訂 学習指導要領との関連

何ができるようになるか

「アフリカ」特に「ウガンダ」の文化や歴史から課題を理解する「知識及び技能」、適切な情報を収集し考察した結果を人に伝える「思考力、判断力、表現力等」、学びを自分の生き方に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことができます。

どのように学ぶか

動画教材では、主体的に学ぶための興味・関心を引き出すことができます。紙教材では、考えたり話し合ったり調べたりする活動を通して、主体的・対話的に学ぶことができます。よりよい課題解決に向けた「深い学び」にも適しています。



「総合的な学習の時間」の国際理解教育

学習の成果を存分に発揮するゴール(まとめとなる活動)を、単元の授業時数に応じて設定しましょう。

生徒が「アフリカ」や「ウガンダ」を身近に感じ、自分のこれからの生活に関わるものの一つとしてとらえるようになる姿を想定するのがポイントです。

学年全体で

- * クラス、または学年全体で学習発表会を行う
- * 次年度入学してくる小学6年生に向けて伝えたい内容をまとめ、出前授業をする



教科横断的に

- * ワークシートをまとめ、ポートフォリオに加える
- * 調べ学習の成果を壁新聞にして、掲示する
- * 学習して得た情報や「ウガンダ」のイメージをもとに自由に作品をつくり展示する
- * 「ウガンダ」の課題から自分にできることを考え、それをポスターなどで表現する
- * 「ウガンダ」の魅力を伝えるCM映像をつくるなど

各教科の授業でも

各教科の授業では、教材の一部を、学習事項と関連づけて活用することができます。下記は、活用方法のほんの一例です。

- * 国語科…紙教材のストーリーを読んだ感想を文章にまとめる
- * 社会科…紙教材の内容に関連する「ウガンダ」のニュースを、ネットなどから探して読んでみる
- * 数学科…相似や比などの図形の学習と関連づけて、「ウガンダ」の国旗を作図してみる
- * 理科…「ウガンダ」のような気候で育つ植物について気づいたことを言ってみる

- * 音楽科…この楽器は何でしょう？ この楽器の音はどれでしょう？ といったクイズをする
- * 美術科…「ウガンダ」の伝統的な衣装の色合いや模様の中に、造形的な美しさを感じ取る
- * 技術科…ICT(情報通信技術)について、日本の普及状況と比べて考える
- * 家庭科…「ウガンダ」の料理やレシピを調べる
- * 保健体育科…「ウガンダ」で人気のスポーツについて調べる
- * 英語科…「ウガンダ」の公用語や地域ごとに違う言葉を調べて、聞いたり話したりしてみる

たとえば数学で…

このページのグラフと日本のグラフを比べて…の計算をすると…

見開きごとのテーマがあるので各教科に取り入れやすい!



指導計画と授業展開の例

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

このページでは、主に総合的な学習の時間の「国際理解教育」にこの教材を位置づけたときの単元のねらい、評価の観点、授業展開や評価の例を紹介しています。

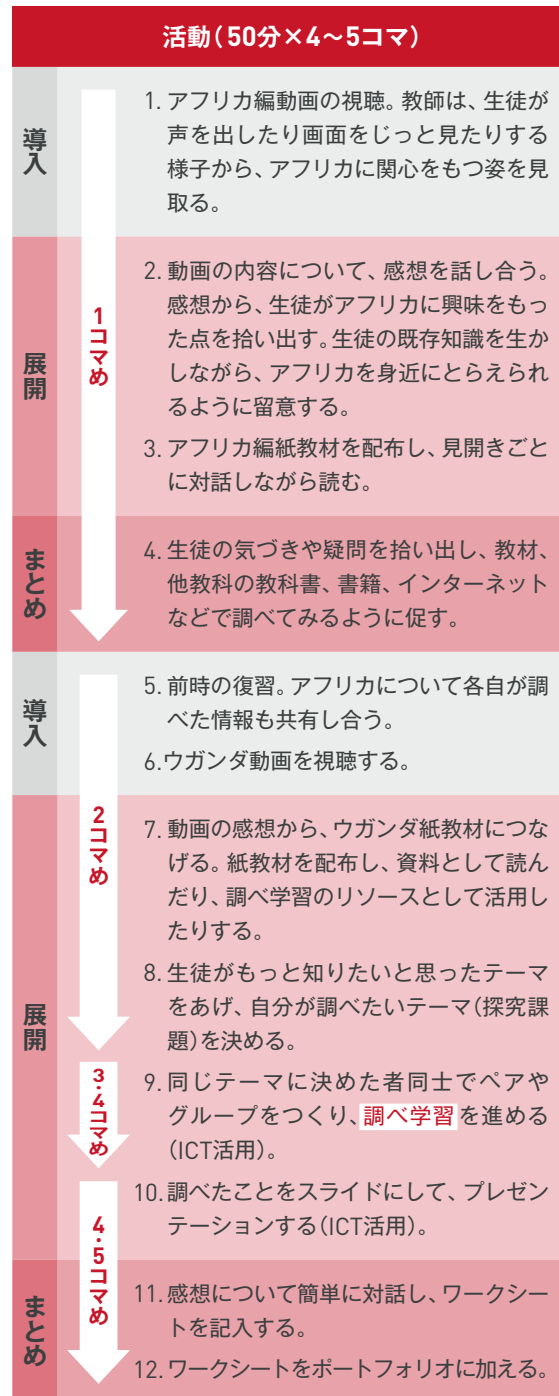
授業展開例 (フルバージョン)

ねらい

- 「ウガンダ」について理解を深める。
- 多様な文化を認める寛容な心を身につける機会とする。
- 国際協力を、自分の生活とのつながりの中でとらえ、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。
- 「ウガンダ」のもつ課題に気づき、身近な問題に結びつける。
- 課題を解決するために必要な知識及び技能を身につける。

評価の観点

- 知識・技能**
- 教材を活用し、人々の暮らし、産業、地理、気候、歴史、文化などを通して「ウガンダ」を知る。
 - 地図帳や教科書など、各教科の資料や教材をリソースとして再活用する。
- 思考・判断・表現**
- 「ウガンダ」とのつながりを身近なものとしてとらえ、自ら学習テーマを設定する。
 - 学んだ内容を分析・再構築し、他者にわかりやすく説明したり作品として表現したりする。
- 学びに向かう力**
- ペアやグループでの協働学習を通して、友達と交流したり他者の考えにふれたりして、人との違いや多様性を楽しみながら学び合う。



ポイント①

社会科の地図帳などの生徒の持ち物や、学校図書館の本なども活用しましょう。

ポイント②

解説が必要な用語は、8ページ以降の「指導のポイント」に掲載があります。

ポイント③

ワークシートについて
紙教材の裏表紙に、授業のまとめで活用できるワークシートを用意しています。



学習活動と評価 (例)

この教材は ① 知らない文化に興味をもって調べる活動、② 異文化を認め合う寛容性を育む話し合い活動、③ 「ウガンダ」のもつ課題や国際協力について考察する活動など、さまざまな学習活動に対応します。それらの活動での生徒の姿を見取り、評価につながれます。

ここに生徒の活動の姿の見取りと評価の例(所見)を紹介します。

興味をもって聞く



冊子を読んで「ウガンダ」に興味をもち、自らの感想を周囲に伝えることができました。

疑問を抱く



「ウガンダ」のもつ課題に関心や疑問を抱き、それを自らの学習テーマとして設定し、調べ学習にも主体的に取り組みました。

日本とのつながりや、自分とのつながりについて考える



資料から得た情報を日本と比べて考察し、「ウガンダ」のもつ課題を自分の身近な問題としてとらえることができました。

調べたテーマについて日本がどう関わっているかを考察し、結果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができました。

考えを話し合う



「ウガンダ」について調べた情報について、ペアの人とよく話し合いながらプレゼンテーションの内容を決めていくことができました。

「ウガンダ」のもつ課題に着目し、自分で調べた情報や友達が調べた情報を整理しながら話し合いを進めることができました。

発展的な学習活動

この教材では、「アフリカ」特に「ウガンダ」について知るなかで、その国のもつ課題とSDGsとを結びつけて、よりよい解決方法について考えていくことが、一つの発展的な学習活動として考えられます。

また、JICAなどの国際協力機関の存在に気づき、どのような活動をしているのかを調べたりして、自分はどういう社会的活動ができるかなど、生徒が主体的に進路を選択していくためのキャリア教育にもつなげられます。

「ウガンダ」のもつ課題をSDGsと関連づけて考察し、よりよい解決方法について話し合うことができました。

国際協力機関がどのような活動をしているかを調べ、自分が将来、どのような活動に参画できるかについて考えることができました。



[所見例]



「ウガンダ紙教材」の 指導のポイント

COMMENTARY AND TEACHING POINTS

ウガンダの人がもつ「寛容な心」に焦点を当て、難民の受け入れや農業などについても紹介していきます。日本の若手起業家とのつながりにも注目してください。

2~5 ページ

導入・発問例

- 1 アフリカで起こっている紛争について、ニュースで見たことある？
……社会科
- 2 難民受け入れ数が多い国はどこだろう？
- 3 ストーリーを読んで、ウガンダの人々の素晴らしさを英語で伝えてみよう。
……英語科
- 4 困ったときはお互いさま、の経験をしたことがある？ どんとき？
……道徳科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

「こんなに住みやすい国だなんて、知らなかった！」
出張や転居、旅行でウガンダを訪れた人々は口々にこう言います。それは、この国の人々がもたらす「寛容な心」が居心地のよさを与えるからでしょうか。「寛容な心」をもつ理由を探ると、そこには多民族国家、内戦の経験など、複雑な事情が見えてきます。

ウガンダ共和国

内戦からの帰還に向けた話し合いの場でも、住民が協力し合う姿もたびたび見られる。

難民などを支える食料、医療の提供。

住地を異国にしなから、居住地の外で仕事をしたり、学校や保健施設など公共サービスを利用したりする自由が与えられていることで、難民居住地の外へ出るには許可が必要で、めったな理由では出られない、という面もある中、ウガンダでは移動の自由がかなり認められている。難民居住地が近いようであれば、ウガンダ政府がこのような寛容な許可を与えているのは、もともとと同じような文化や言語をもつ人々が難民をまきだして暮らしていたり、それによって近しい交流のネットワークが形成されているから、難民を受け入れる難度がぐんと低くなっている、ということも関係している。

ウガンダでもかつて、1980年代から20年以上も内戦が続いていました。なかでも反政府組織「神の抵抗軍」が活動していた期間は凄惨となり、南スーダンなどへ逃れた人々もたくさんいました。そのときに助けてもらってお世話になったウガンダは、56年の親睦が暮らす多民族国家で、同じ親睦ではない人々と暮らすことが当たり前に、人口約770万人の歴史都市エンゴバには外国人が頻りにあふれ、難民を受け入れる寛容な心ももっています。そんななかから、もつ人々が暮らすのが、ウガンダなのです。

【困ったときはお互いさま】
アフリカには、紛争などによって起きているところがお互いに助け合っているところが多いです。難民を受け入れる国は、自分たちも助け合っているところが多いです。自分たちも助け合っているところが多いです。自分たちも助け合っているところが多いです。

【ウガンダがわかる地図】
ウガンダの位置は、東アフリカの中心部にあります。北に南スーダン、東にケニア、南にタンザニア、西にコンゴ民主共和国と接しています。首都はカンパラです。

ウガンダのお互いさまは、なにも難民に限ったことではありません。ほかにもさまざまな場面で見られます。

たとえば、グループで少しづつお金を集め、ある程度貯金できたら、そのお金を一人が受け取るとして、順番に回したり、くして決めたりします。またお金の受け取りに入るため、農業の設備投資や教育費などとして活用でき、一人でお金をためるよりも効率的な使い方ができます。このような助け合いは、かつて日本でも活用されました。

ほか、地方の偏狭されていない道路を維持するしくみも、言葉の力を合わせて行っています。

また、メンバーの人数がなくなったときに、最後の最後まで必要なお金を集め、お金の受け取りを順番に回したり、くして決めていくという、お金の受け取りに入るため、農業の設備投資や教育費などとして活用でき、一人でお金をためるよりも効率的な使い方ができます。このような助け合いは、かつて日本でも活用されました。

【ウガンダがわかる地図】
ウガンダの位置は、東アフリカの中心部にあります。北に南スーダン、東にケニア、南にタンザニア、西にコンゴ民主共和国と接しています。首都はカンパラです。

導入・発問例

- 5 写真の人々の表情について、気づくことを言ってみよう。
- 6 難民を受け入れる地元住民に必要な支援って何だろう？ 考えてみよう。
- 7 ウガンダの「寛容な心」をテーマに詩をつくろう。
……国語科
- 8 ウガンダで仕事をつくるとしたら、どんな仕事がいいかな？ ストーリーをヒントに考えてみよう。
……キャリア教育

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

ウガンダは、アフリカ最大規模の難民受け入れ国です。UNHCRのレポート(2019年)によると、その受け入れ数は140万人にもなっており、世界第4位です。ウガンダ政府は、国際機関やNGOなどと協力して、難民とその受け入れをしている地元住民の生活を支援しています。雇用機会をつくったり、受け入れ自治体の運営能力を強化したりなどの平等な

支援が、彼らの持続可能な暮らしを生みます。日本の難民政策*について知り、話し合うきっかけにもしましょう。

ウガンダでも紛争が長引いた北部から中部・南部への「国内避難民」がたくさんいたので、ほかの国の難民受け入れにもそれほど抵抗がなかった面があります。寛容な心とは何かを考える生徒の姿を見取りましょう。

ウガンダ重要年表

1962年	イギリスから独立	1996年	大統領・国会議員選挙、ムセベニ大統領当選
1963年	共和制移行	2001年	大統領・国会議員選挙、ムセベニ大統領再選
1966年	オボテ首相がクーデターで大統領になる	2005年~	複数政党制の復活、大統領三選禁止規定の廃止
1971年	アミン少将がクーデターで大統領になる	2016年~	南スーダンからの難民が大量に流入 北部の反政府組織「神の抵抗軍」の活動縮小に伴い、国内避難民はほぼ帰還
1980年	オボテが再び大統領になる		
1986年	国民抵抗軍(NRA)を率いてゲリラ活動をしていたムセベニ中將が大統領に就任		

*日本の難民政策:「国内における難民の受け入れ(外務省)」Webページなどを参照しましょう。

「アクティブ・ラーニング」のポイント

ウガンダの難民政策、人々の暮らしなどについて調べ、それをもとに話し合ったり、日本の生協や農協などの相互扶助組織について調べたりする学習に役立つキーワード、検索ワードの例を紹介します。

調べ学習に使える!

検索ワード

- 難民受け入れ UNHCR
- 相互扶助組織 日本 生協
- ウガンダ 雇用問題

用語解説

*1 「難民」

政治的な迫害のほか、武力闘争や人権侵害などで自国から他国に逃れた人々のこと。国内避難民は、住み慣れた家や地域から逃れたが、自国内で避難生活を送る人々。

*日本人で初めての国連難民高等弁務官となった緒方貞子さんについても紹介するとよい。

*お役立ちサイト

ウガンダ共和国基礎データ(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uganda/data.html>

Global Trends Forced Displacement in 2019
<https://www.unhcr.org/globaltrends2019/>

国内における難民の受け入れ(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/nanmin/main3.html>

発問例

- 1 王国が舞台の物語を読んだことある?
……国語科
- 2 ガンダ語であいさつしてみよう!
……英語科
- 3 ウガンダに住むとしたら、どんな仕事をしたい?
……キャリア教育
- 4 入学試験よりも卒業試験が大変なのはどうしてかな?

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

ウガンダってどんな国?

ウガンダの国名はどうやって決まった?
19世紀に栄えた王国の名前からです。

英語はどこでも通じる?
A たいいてい、どこでも英語は通じます。

ウガンダに日本人はどのくらい住んでいる?
A 270人です。

ウガンダにも受験はあるの? 卒業は大変なの?
A 受験よりも卒業試験が大事なようです。

データで見るウガンダ

- 人口: 4,270万人(日本の約1.6倍)(2020年推計)
- 面積: 241,579km²(陸地面積が2万4千157km²の日本の約1.6倍)
- 人口密度: 236.9人/km²(2020年推計)(日本の約1.6倍)
- 言語: カンガロ
- 通貨: 英語、スワヒリ語、ガンダ語
- 主要産業: カカオ豆栽培(約40%)、農業(約30%)、イースターム(約10%)

ウガンダの高校生のこと

学校制度

ウガンダ: 小学校(1~7年)、中学校(8~10年)、高等学校(11~13年)、大学

日本: 小学校、中学校、高等学校、大学

どんなふうに一日を過ごすの?
A 早くも高等中学校なので、朝のスケジュールが決まっています。

お気に入りの食べ物?
A 好きな料理は「ケゲ」です。おやつは「スナック」が大好きです。

日本は知っている?
A 日本はハイテクでとても平和な先進国で、人々は勤勉で規律正しく、時間をきちんと守って働くことが好きです。

発問例

- 5 ナサカさんやカルンバさんについてわかったことを英語で言ってみよう。
……英語科
- 6 日本で「明るい」「誠実な」という意味をもつ名前をあげてみよう。
- 7 ナサカさんやカルンバさんに君の好きな食べ物を紹介してみよう!
……国語科(英語科)
- 8 空港の通関って何をするところか知っている?
……キャリア教育

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブ・ラーニング!のポイント

ウガンダの歴史、言語、ウガンダに住む日本人の仕事、日本にいるウガンダ人の暮らし、教育制度などが学習テーマとして考えられます。

ウガンダの言語について調べて、自分たちで会話する動画を作成するなどの活動が、アクティブ・ラーニングにつながります。

調べ学習に使える!

検索ワード

- ウガンダ プガンダ王国
- ウガンダ ガンダ語 公用語
- ウガンダ 教育制度 卒業試験

指導のポイント

ウガンダの国名は4王国のうちプガンダ王国からとりましたが、国旗(紙教材2ページ)に入っているカムリツルは、どの王国もシンボルに使ったことがなかったため、その中立性から新しいウガンダのシンボルに選ばれたといわれています。

難民を寛容に受け入れていても、ウガンダは国としては低所得国に位置づけられます。総人口のうち約21%が統計上は貧困層に属し、特に農村部は現金収入がとて少ない状況です。ただ、もともと現金の流通率が低いので生活自体はひっばくしているとは限らず、自由に暮らしている一面もあります。日本でも、商店があまりない地方では、近所に住む人がほとんど知り合いで、お互いを訪ねればお茶やお菓子が出てきたりするような所があります。少しの時間をつぶすのに喫茶店でお金を使うような、都市での生活とは違う暮らし方があるのです。人々の暮らしの豊かさは、必ずしも数値に表れるわけではないことを、生徒と話し合ってみましょう。

また、内戦で政権が交代するたびに通貨は変わります。政治的に安定するまでは、政府発行の貨幣も信用できませんでした。

指導のポイント

ウガンダは教育熱心な国です。遅れて入学したり留年したりする子どもの就学率が含まれる粗就学率(総就学率)では、小学校への就学率は100%を超えます。しかし、一つの教室に子どもがぎゅうぎゅうに詰めこまれるなど、施設不足や教師不足の問題があります。小学校を中退する子どももいます。余裕がある家庭では、有料の寄宿学校を選んで質の高い教育を子どもが受けられるようにするケースもあります。紙教材に載っている高校生はあくまで一例で、ウガンダの平均的な生徒というわけではないことを説明してください。

教育制度の概要

- 学校制度
7・4・2・3年制 新学期は2月~(大学はコースにより2~4年)
- 義務教育期間
定めなし
- 学期制
3学期制(1学期:2~4月/2学期:5~8月/3学期:9~12月)
- 教育概要・特色
 - ・小学校における必修科目は英語(読み書き)、数学(基本的計算能力)、科学、社会科
 - ・そのほかには各民族の言語、スワヒリ語、宗教、総合生産技術、農業、体育、音楽、図工など
 - ・前期中等教育では必修3科目(英語、数学、生物)プラス5~6科目を選択
 - ・後期中等教育では必修科目は英語のみでほとんどが選択科目。卒業試験では総合問題(General Paper)を行う。授業は原則英語で実施。
- 粗就学率
小学校 103%(UNESCO“National Monitoring”2017年)



発問例

- ① 甘いバナナがあるって知っている？ どうやって食べると思う？
……家庭科
- ② 米の調理法が簡単って本当？ どんな調理法がある？
……家庭科
- ③ (事前に調べて) 家にあるコーヒーや紅茶の産地を教えて！
……社会科

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



指導のポイント

まずは、ウガンダ中部の主食として特徴的な甘いバナナ(青バナナまたはプランテン)について紹介しましょう。青バナナを蒸してつぶしたものを「マトケ」といい、ピーナッツや豆などのソース(シチュー)を添えて食べるのが一般的です。
ウガンダ北部では約90%が農業従事者で、その多くが「自分たちの食べ物を自分たちで育てる」自給自足の暮らしを営んでいる点も押さえましょう。

ウガンダの課題について

食料自給率の低さ
ウガンダ北部には、気候変動による干ばつや、作物が病気になったり害虫がついたりする病虫害で、食料の確保が困難な状況もあります。また、人口急増は、農業開発が追いつかず食料自給率を下げる要因になります。その解決策の一つとして、ウガンダをはじめアフリカで米の需要が高まっている点を押さえます。
(くわしくは15ページ)

アクティブ・ラーニング!のポイント

甘いバナナの栽培方法や調理法を調べて日本でも広められるか考える、米づくりに必要な設備や道具を調べて、ウガンダの農家に紹介するスライドを作成するなど考えられます。考察の結果を表現する発表の場を設けましょう。

調べ学習に使える!

検索ワード

- 🔍 青いバナナ ウガンダ
- 🔍 ウガンダ アフリカの真珠
- 🔍 ウガンダ 世界遺産
- 🔍 ウガンダ 農業 コーヒー

指導のポイント

ブガンダ歴代国王の墓は、木材や茅、石灰などで造られた円錐形。ブガンダ王国の歴代国王のうち、19世紀以降、1962年独立時のブガンダ王で、初代ウガンダ大統領だったムテサ2世までの4人の墓です。2010年に火事で主要建物が全焼するも、日本も援助して再建されつつあるという経緯があります。

ルウェンゾリ山地は、「幻の月の山」「ナイルの源流」といわれ、探検ものの作品のモチーフになっています。たとえば、1990年のアメリカ映画『愛と野望のナイル』などです。探検ものの文学作品、紀行文への知的関心の道筋をひらくのもよいでしょう。

ウガンダの課題について

給水設備の不足

ウガンダ中央部から東部にかけてはチョヨガ湖が広がり水が豊富ですが、「安全な水」の供給率に焦点を当てると、高いとはいえない状況です。少なくとも基本的な飲料水を利用することができる人口の割合(給水率)は約49%です。数値から、地方の人々が安全な水を得るた

めに苦労している様子を想像できるようにしましょう。また、JICAの活動を知り、安全な水を利用できるようにするにはどんな支援や協力があるか、グループごとにまとめて発表し合しましょう。

(くわしくは15ページ)

発問例

- ④ 「アフリカの真珠」ってどういう意味だろう？
- ⑤ ウガンダの伝統のダンスを映像で見よう。踊ってみよう。
……保健体育科
- ⑥ ルウェンゾリ山地の位置や標高を、地図帳で確かめてみよう。
……社会科
- ⑦ ハンドポンプを使って井戸の水を汲んだことがある人はいる？

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



用語解説

- *1 「キャッサバ」
芋の一種で、マニオクともいう。タピオカの原料にもなる。
- *2 「商品作物」
農家が、自分で消費するだけでなく、主に売ることを目的として栽培する作物のこと。現在の日本では、農作物のほとんどが商品作物といえる。

※WHOとUNICEFが実施する「水と衛生共同モニタリング・プログラム(JMP)」レポート(2019年)による。

14～15ページ

発問例

- 君は「起業」してみたい？
どんな会社や店がいいかな？
……キャリア教育
- ウガンダの人に日本の料理を食べてもらおうとしたら、何をすすめる？
……家庭科
- アフリカプリントのデザインを取り入れて作品をつくってみよう。
……美術科
- 野球や、日本とウガンダ野球のつながりについて、英語で説明してみよう。
……英語科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



指導のポイント

ウガンダ政府が推進する起業の文化は、若者の失業問題を解決する手立ての一つです。紙教材15ページの例から、日本人のウガンダでの起業が人々にどんな影響を与えているかを考えてみましょう。内戦時に誘拐され、兵士として戦わされていた元子ども兵は、適切な教育を十分に受けておらず、地域の人々とのつながりもないので仕事を得るのが難しい状態です。彼らの社会復帰に必要な支援の一つ。ABEイニシアティブなど、日本が行っている支援についても説明しましょう。

ウガンダの課題について

ウガンダ野球を広める

2004年、2008年来日した野球少年たちが現在、ウガンダでの普及活動の中心スタッフであること、2014年に日本の外務省の援助で東アフリカ初の国際野球場がウガンダに建設されたことなどを、ウガンダ野球と日本のつながりがわかるように説明しましょう。

(くわしくは15ページ)

ウガンダの課題とそれに対するJICAの協力

*下線部(~~~~)は、SDGsの169のターゲットからの記載です。(SDGs CLUB/UNICEF参照。https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)



ウガンダでは、生態学的には三毛作も可能といわれ、米の生産性向上が期待されています。SDGs2「持続可能な食料生産のしくみで、だれもが安全で栄養のある食料を十分に得られるようにする」ことが大切です。JICAでは、高品質の米を生産する能力を強化するため、米の生産性や品質の向上に向けた研究・普及体制の整備に協力しています。

ウガンダでは、紛争の影響などで、安全な水へのアクセス率が地域によって異なり、地域間格差が発生しています。JICAでは、給水率が低い地方部において、給水施設を建設するとともに、施設の稼働率向上のための維持管理体制の強化を支援しています。

ウガンダ野球は、アフリカでは南アフリカ共和国に次ぐ強さです。JICAでは、ナショナルチームへの支援を通じて、国民の結束や一体感の強化、国際社会との連携促進を図っています。また、中学校・高等学校へもJICA海外協力隊を派遣して、課外活動として野球を教え、スポーツを通じた強い体や豊かな心の育成に協力しています。



JICAとは

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。くわしくは、アフリカ編教材の指導書やJICAの公式サイトでも確認できます。(https://www.jica.go.jp/index.html)
ウガンダにおいては、経済成長を実現するための環境整備、農村部の所得向上、生活環境整備(保健・給水)、北部地域における支援を重点分野として、協力活動を行っています。上記はその一例です。

国際協力について知る!

- 検索ワード
- 国際協力 日本 JICA
 - 国際協力 国連 SDGs
 - JICA 各国における取り組み ウガンダ